



SHOESHINE GRAND PRIX  
2026

**ルール&審査項目について(U-18部門)**  
-Rules & Examination items of U-18 SECTION-

磨く靴や道具

後述の詳細をご参照ください

制限時間  
(磨く時間)

片足15分間  
制限時間が半分経過した後に、3分間の作戦タイムがあります。

審査方法  
審査員

①テクニカルポイント②プレゼンテーションポイント③アディショナルポイント  
審査員は大会本部が選出した審査員が行う  
(\*各項目の配点は磨く靴によって異なります)

競技の流れ

磨く靴の確認→テーマの発表→使用する道具選び→磨き→\*プレゼンテーションタイム

\*プレゼンテーション  
タイムとは

磨き後に各選手に対して設けられる60秒間の説明タイム。  
内容は基本自由ですが  
「磨いた靴についての説明」「誰(どんな方)に向けての磨きか」  
「磨きにおいて何をポイントにしたか」  
の3要素は必ず盛り込んでください

運営側で  
準備する  
モノ

項目	詳細
使用する靴	新品又は履いているシューズ (*詳細は追って出場選手にお伝えします)
クリーム等の磨き に使用する用品	大会認定用品 (乳化性クリーム、ワックス、クリーナーなど別紙参照)
磨き台	W900×H1100×D450の磨き台を1台ずつ準備はするが磨くスタイルは自由

選手が  
持ち込み  
可能なモノ

ブラシ	個数及び素材は自由 (禁止事項: 予め溶剤や水分等を含ませたもの。乾燥した状態に限る)
クロス	枚数及び素材は自由 (禁止事項: 予め溶剤や水分等を含ませたもの。乾燥した状態に限る)
その他	磨き椅子、ハンドラップ、時間を確認するもの、保冷剤、水(氷)など必要なもの (禁止事項: 電源を要するもの、火気厳禁のもの、自身の磨きスペースを越えるもの)

## その他

- ・シューツリーは競技が始まる前に靴の中に入れていただいても構いません。
- ・靴の紐は競技前に解く又は外していただいても構いません。(モンクストラップに関しては外していただいても構いません。)
- ・磨きに使う道具(大会側が準備しているクリームやWAXなど)は前の試合にて使用したものはそのまま流用してください。(試合毎に新たにアイテムを追加することも可能ですので、必要に応じて道具をご選択ください。)
- ・ハンドラップ等で使用する水は各自でご準備してください。
- ・競技で使用しなかった道具は道具コーナーに返却してください。
- ・競技中に追加の道具が必要になった場合は取りに戻っていただいても構いません。
- ・ご自身の磨き台に到着しましたら、磨きの準備を始めてください。磨き道具の蓋は外していただいても構いませんが中身に触れるのは禁止です。
- ・得点の開示に関しては、希望者のみ大会終了後に各選手個別にて行います。  
開示範囲はテクニカルポイント(光沢、グラデーションなどの項目毎の点数)、プレゼンテーションポイント(ワクワク感、説得力の項目毎の点数)、その他の得点になります。  
(\*審査員別の得点は開示いたしません。)

コンディショニング	①コンディショニングカ	ブラッシング、汚れ落としやクリームの塗布を含め、 革の状態に合わせて的確かつ十分に保革を行っているか	10~25点
光沢	②光沢& 透明度	光沢の強さ・透明感のある仕上がり	15~25点
グラデーション	③グラデーション	グラデーションのメリハリ、 継ぎ目にムラがない美しい磨きか否か	15~20点
完成度	④磨いた靴の完成度	ほこり、ゴミ、磨きムラ、ソールの汚れ、 紐の捻れなど、仕上がりの完成度	10点
表現力	⑤テーマに対しての 表現力	与えられたテーマに対し、磨きを通じた表現力	10点
プレゼンテーションカ	⑥ワクワク感	磨いている姿やスタイル、所作等にワクワクして、 またこの人に磨いてもらいたいと思うか (プレゼンテーションタイム*でパフォーマンスも含む)	各10点 合計20点
	⑦説得力(性)	プレゼンテーションタイム*で今回の磨きのポイントや魅力を わかりやすく説明できたかどうか。その内容と磨きに整合性がついているか	
加対象 *審査員特別点	*審査員判断	審査項目では測れない審査員を唸らせたポイントがあった際 に入る加対象項目 (観点例:磨きの仕上がりのバランス、新たな磨きへのチャレンジなど)	最大5点
			合計100点